

ことが大変多い。単元づくりや授業づくりをする上でも、綿密な支援を考えておくことが、気付きの質を高めることにもつながる。指導と支援について次のように整理してみた。

* (支援以外の) 指導→主に直接的、全体的
例えば、安全上の最低限のルールやマナー、技能などの指示、教材の扱いや作業や活動の手順などの指示

* 支援↓主に間接的、個別的
・見守り待つ ・引き出し支える 例えば、学習環境の整備、共感・誉める、一緒に活動する、問いかける(対話)、気になる子(個別)への対応
学習指導案上では、「学習活動」(子ども立場で記入)に対して、学習活動を支える教師の役割として、「指導上の留意点」「教師の支援」(教師の立場で記入)という欄を設けることが通常である。この場合、「指導上の留意点」を「(支援以外の)指導」、「教師の支援」を「支援」として記入するとよい。「(支援以外の)指導」ばかりになっていない学習指導案では、

子どもの「思いや願い」を引き出すことは難しい。

◆「学びに向かう力」を生み出すもの

私は、「学びに向かう力」を次のように考えた。「生活科」自らの思いや願いをもち、仲間とともに、その実現に向けて、チャレンジする態度

【総合】互いの考えを聞き合い、仲間とともに問いを立て、他者(仲間・地域の方々)と協働しながら課題を解決し、社会に参画していこうとする態度

これらの態度を生み出すのは、探究意欲や発信意欲であり、自信が必要となる。自信は、自身の学びへの満足感、達成感等であり、振り返りの場が必要となる。主体性、独創性を発揮し失敗からも学んでこそ、達成感等は得られる。それには、適切な探究課題の設定、疑問、適度なハードル、迷いが生じるような授業場面の構成が必要である。令和時代には、そんな生活科・総合的学習の授業を展開してこそ、中野重人先生のご尽力とご恩に報いることになる。今、決意を新たに共に頑張りましょう。

目次

巻頭言

生活科・総合で大切にしたい

子どもの思いや願い

日本生活科・総合的学習教育学会 会長
野田 敦 敬……………2

子どもと教師が創る生活科の授業

『はじめに子どもありき』に根ざした生活科

「アサガオ栽培」の実践から学んだこと
長野県長野市立南部小学校 教諭
(前長野県諏訪市立高島小学校 教諭)
上原 博 光……………8

解説

生活科における

「はじめに子どもありき」の具現化

日本生活科・総合的学習教育学会 前理事
東京学芸大学 名誉教授
平野 朝 久……………22

野に出る活動で生き生きと学ぶ子ども

『くさむら』であそぼう』の実践から

信州大学大学院教育学研究科 准教授
(前信州大学教育学部附属長野小学校 教諭)
宮 島 新……………24

解説

深い学びを生み出す、

教師の信念に基づく実践

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事
福島大学人間発達文化学類附属学校
臨床支援センター 教授
宗 形 潤 子……………38

子どもたちの思いや願いを生み出す

「環境」を通して行う生活科の授業づくり

『一年生『サツマイモだいさくせん』の
学習を通して』
兵庫県加古川市立川西小学校 教諭
藤 池 陽太郎……………40

解説

気付きの質を高め、深い学びに届く
「環境」を通して行う生活科の授業づくり
日本生活科・総合的学習教育学会 前常任理事
武庫川女子大学 准教授
藤本 勇 二……………54

気付きの質を高める生活科の学習指導のあり方

～国語科との合科的・関連的な指導による
気付きの表出の効果的なタイミングと方法～
大分県佐伯市立明治小学校 指導教諭
（前大分県佐伯市立鶴岡小学校 指導教諭）
武田 文子……………56

解説

気付きの質を高める生活科の学習指導の在り方

～国語科との合科的・関連的な指導による
気付きの表出の効果的なタイミングと方法～
日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事
國學院大學人間開発学部初等教育学科 教授
田村 学……………70

地域に主体的に関わろうとする

児童を育てる総合的な学習の時間
～地域の人との協働的な探究活動を通して～
福岡県久留米市立鳥飼小学校 指導教諭
（前福岡県久留米市立北野小学校 教諭）
三池 暁 久……………104

解説

概念をいかに獲得させるか

日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事
久留米市教育委員会 教職員課長
四ヶ所 清 隆……………118

総合的な学習と学校行事の有機的な関連を図る

指導の在り方
～『大分県の魅力度ランキングをあげよう』
の実践から～
大分大学教育学部附属中学校 教諭
指原 健太郎……………120

解説

学校行事と総合的な学習の時間の

有機的な関連による探究の充実
日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事
大分県教育庁義務教育課 指導主事
後藤 藤 竜 太……………134

価値ある内容を探究的に学ぶ単元の構想

～第4学年「私たちが守る
ふるさと自治の環境」の実践から～
京都府宇治市立神明小学校 教諭
（前京都府宇治市立北小倉小学校 教諭）
千々岩 香 織……………72

解説

地域の環境との関わりを重視した
探究的な学習

日本生活科・総合的学習教育学会 京都府地域世話人
京都文教大学 教授
寺田 博 幸……………86

「主体的・対話的で深い学び」を保障する

総合的な学習の時間のあり方
～地域への愛着を深めるカリキュラムにおいて～
山口大学大学院教育学研究科
教職実践高度化専攻 講師
（前山口大学教育学部附属光小学校 教諭）
藤上 真 弓……………88

解説

「主体的・対話的で深い学び」の

実現に向けて
日本生活科・総合的学習教育学会 山口県地域世話人
山口大学大学院教育学研究科
教職実践高度化専攻 教授（特命）
岡崎 智 利……………102

「社会と協働する探究カリキュラムの提案」

～地域と人と学びをつなぐ～
大阪府堺市教育委員会教育センター 指導主事
（前大阪府堺市立野田中学校 教諭）
品川 隆 一……………136

解説

総合的な学習の時間における

「探究カリキュラム」開発のデザイン要点
日本生活科・総合的学習教育学会 常任理事
関西福祉科学大学教育学部教育学科
子ども教育専攻 講師
香田 健 治……………150

発刊のねらい……………152

応募・執筆要領……………153

編集後記……………154

執筆者分布図……………155